

暗紫色になっていることがあります。

- ・壊疽、瘰癧
- ・おでき、吹き出物、湿疹：全身の疲労感や下痢を伴うことがあります。
- ・虫刺され：鋭い痛みと局所の硬結を伴います。

#### ■神経系

- ・舞踏病
- ・頭痛
- ・髄膜炎

- ・精神錯乱

#### ■その他

- ・口内炎：焼けるような痛みがあります。消化管全体に広がる場合があります。
- ・間欠熱：夜に悪化します。

#### MODALITY

▶ 喫煙

◀ 冷たい飲物、夜、ストレス、疲労など

## Tarentula hispana タランチュラ [多動, 舞踏病]

*Lycosa tarantula fasciventris* Dufour

### BACK GROUND

タランチュラはオオツグモ科のクモの総称で、世界に800種以上が生息していると言われています。

Tarentula hispanaは、南ヨーロッパに広く生息しているコモリグモ *Lycosa tarantula*です。体長およそ3cmで、全体的に灰色をしていて、黒と白のストライプ模様が体にあります。雄と雌は、よく似ています。雄のほうがやや胴体が細くて脚が長く、雌のほうがずんぐりして見えます。



種小名 *tarentula* は、イタリア南東部アブリア地方の都市、タラントに由来します。この地方に多く生息しています。属名の *Lycosa* は、ギリシア語の *lukos* 狼という意味に由来します。このクモは南ヨーロッパでは、昔から毒グモとして思われていましたが、実際には、このクモの毒性は弱く、人間への影響はまったくと言っていいほどありません。本種が毒グモとして有名になってしまったのは、15～17世紀の南ヨーロ

パに見られた舞踏病の原因として、誤解されていたことによります。これは、裸足で農作業をする農夫が、石の下にいるマダラサソリに刺されたときに、同じ環境に生息している、Tarentula hispanaが原因であると誤解されてしまったことに、一因があるようです。当時やはり有名な毒グモであった *Latrodectus mactans* の毒には、舞踏病様の症状を起こすことがあったことも、影響しているようです。

このクモは、クモの巣を張らずに巣穴をつくり、攻撃型の狩猟行動をとります。そのため、英語では、Wolf spider, Hunting spider などと呼ばれています。

Tarentula hispanaの毒腺には、およそ30mgの無色の分泌物が入っています。この分泌物は、中性またはわずかにアルカリ性を示します。主な成分には、脂肪分、ヒアルロニダーゼに代表される蛋白酵素群、ブラジキニンに近い作用を示すキニン、ヒスタミンやセロトニンなどのアミン類があります。

タランチュラの咬み傷は、人間には致命的ではなく、軽度の局所症状のみを示します。局所症状には、咬傷部位の発赤と炎症、腫れ、しびれ、痛みなどがあり、通常は数日程度で治まります。実験動物を使った毒性実験でも、やはり局所の浮腫と炎症が主な結果でしたが、一部の例では、一時的な唾液過多や呼吸困難、興奮などの症状が見られたことがあります。

### MATERIAL

このクモ全体をつぶしたものを、90%アルコールに漬けたもの

## FIRST PROVING

Nunez (1866)

## MIND

Tarentula hispana タイプは、神経系が過剰興奮した状態になっています。絶えず慌ただしく動いており、音楽、とくにビートのある音楽によって落ち着く傾向があります。ダンスや性交も好きです。非常に社交的です。しかし、社会的な品位や規律にはまったく無関心です。

何かをしている必要があるので、仕事をとことん行い、エネルギーがあるので、機械のように働き続けることができます。しかしながら、地に足がついていない状態ですので、秩序だった仕事を継続しにくい面があります。自分勝手に、ごまかしたりするずる賢い面もっています。心身ともに非常に落ち着きがありません。他人の行動が遅すぎるように見えて、イライラします。気分もコロコロと変わりやすく、突然怒ることもあります。キレると暴力的になったり、物を壊したり、投げつけたりします。特定の色を嫌う傾向があります。

病気になっても落ち着かず、体を動かし続けます。寒がりですが、戸外の空気が好きです。塩味の強い食べ物やスパイシーな物、生の食物が好きです。冷たい飲物が好きで、いつでも冷たい水を欲しがります。肉やパンはあまり食べません。

## AFFINITY

Tarentula hispana は、とくに神経、心臓、脊椎、呼吸器系、女性生殖器に親和性があります。

## CLINICAL APPLICATIONS

### ■精神神経系

- ・**多動症**：心身ともに極度に落ち着きがありません。とにかく急いでいて、動かずにはられません。地に足がついていない状況と同調できるので、リズムの強い音楽によって落ち着くことがあります。音楽のリズムに合わせて、最初のうちは興奮することもあります。だんだん落ち着いてきます。踊ることで症状が緩和します。
- ・**舞踏病**：手足が絶えず動き続けています。とくに下肢の動きがより激しい傾向があります。やや右側の症状が強くなる場合があります。痙攣が不規則に起こり、しびれやジンジンするような感覚を伴うことがあります。
- ・チック
- ・頭痛：いろいろなタイプの頭痛が見られます。脳み

そに針千本刺されているような、強い痛みがあります。または、後頭部をハンマーで殴られたような痛みがあることもあります。絶えられないほどの、非常に激しい頭痛になることもあります。こめかみ部分の重い頭痛は、吐き気を伴って顔や首にまで広がります。髪の毛をとかしたり、引っ張ったり、頭皮を擦ったりします。頭痛の最中は、光線恐怖症になることがあります。右眼の瞳孔は開きぎみで、左眼は収縮することがあり、とくに右眼に痛みや異物感があります。

- ・髄膜炎：冷水を頭や体に浴びせられたような感覚になることがあります。
- ・脊髄腫瘍
- ・多発性硬化症
- ・メニエール病：めまいは、とくに夜や階段を降りるときに顕著です。
- ・パーキンソン病
- ・睡眠障害：眠ってもよく動きます。
- ・注意欠陥多動性障害
- ・ノイローゼ、神経症：心配症、動揺、ヒステリーになります。
- ・神経性過喚起症候群、神経性呼吸困難
- ・転げ回ると楽になる症状
- ・蟻走感：皮膚に虫が這っているような感じがします。
- ・不良：興奮しやすく、暴力的で、従順さがありません。ちょっとしたことでキレることがあります。大人が決めた規則に反発します。他人のいいなりにならないといけないことに対する、恐怖と強い反発があります。窃盗癖をもつ例も見られます。

### ■泌尿生殖器系

- ・性欲亢進、自慰過多
- ・月経困難症
- ・子宮鼓腸症：ガスが出てきます。
- ・子宮の腫瘍、子宮頸管癌：帯下は最初は透明で粘性があります。
- ・卵巣疾患、卵巣腫瘍
- ・外陰部のかゆみと過敏症
- ・睪丸腫瘍
- ・膀胱炎
- ・尿失禁：笑ったり、咳をすると尿が漏れてしまうことがあります。尿沈渣に結晶成分が多く見られます。糖尿病などで、多飲多尿のことがあります。

### ■心臓

- ・狭心症
- ・僧房弁閉鎖不全症：心疾患のときに冷水に手を入れると悪化します。



- ・突然の激しい動悸：悪い知らせを聞いたり、何かトラブルを目撃したりすると心臓が激しくドキドキします。不整脈になることがあります。心臓がグイッと捻られるような感覚になることがあります。
- ・窒息感：落ち着きがなく、叫んだり泣いたりします。新鮮な空気を欲しがります。咳をすると苦しくなります。

#### ■その他

- ・膿瘍
- ・皮膚潰瘍病変
- ・湿疹：かゆみがあり、蟻走感があります。
- ・皮膚の蟻走感
- ・クモによる咬傷
- ・異嗜：砂を食べたがる場合があります。

#### MODALITY

- ▶ 外気、音楽、明るい色、患部の圧迫とマッサージ、喫煙、乗馬など
- ◀ 触られること、夜、気候の変化、寒さ、生理後、性交、運動、騒音、洗顔、手を冷たい水に入れることなど

周期性：毎日、毎年などの周期性をもつ症状があります。

#### RELATIONS

- ・ Antidote to : Lachesis
  - ・ Antidotes : Pulsatilla, Magnesia carbonica, Moschus, Cuprum metallicum, Chelidonium, Gelsemium, Bovista, Carbo vegetabilis
- 症状によっては Arsenicum album も考慮する必要があります。

## Tela aranerium クモの巣 [深い瞑想状態へ]

Spider's web

#### BACK GROUND

クモの糸は腹の中の紡績腺でつくられます。紡績腺の中には、糸の素になる粘液状の蛋白質が貯蔵されています。そして、クモのお尻の先にある6つの糸いぼの先端にブラシ状の開口部があり、そこから糸が出されます。



このクモ糸の主成分は蛋白質です。その性質は、カイコがつくる絹糸と類似する点が多くあります。強度や弾力性、伸展性の面ではカイコの絹よりも優れています。

クモは、使用目的に応じて、いろいろな糸をつくり分けることができます。クモの出す糸には、縦糸、横糸、外枠用の糸、足場づくりの糸、獲物を包む糸、下に降りるための糸の6種類が知られています。

これらの糸を駆使して、クモは生活のあらゆる面で糸を使います。獲物を捕らえる網のほか、捕らえた獲物を包む、住居、卵を包む、糸を風に流して遠くへ移動することにも使用します。

クモは、獲物が巣に引っかかると、その振動を感知して捕らえにやってきます。もし、枯葉などの餌以外のものが網に引っかかると、その周りの糸を切り離して落としてしまいます。

クモ自身は、この網に引っかかってしまうことはありません。クモの足はツメがあり、カギ型になっています。このツメを糸に引っかけて移動しています。この足先は脂分で覆われていて、糸にくっつかないようにになっています。

クモの巣には、主に縦糸と横糸があり、縦糸はサラッとしていて、横糸はネバネバしています。卵を包む糸や獲物を包む糸は、ネバつきがあり、幅も広がっています。それぞれ異なったファイバー構造をもつことが知られています。種類によっても違いがあり、た